

ブラジル株式 ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年12月19日から2027年4月26日まで	
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	円建ての外国投資信託証券であるUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）および国内の証券投資信託であるマネーブルマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	マネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

運用報告書（全体版）（第21作成期）

第118期（2024年11月25日） 第121期（2025年2月25日）
第119期（2024年12月25日） 第122期（2025年3月25日）
第120期（2025年1月27日） 第123期（2025年4月25日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ブラジル株式ツインαファンド（毎月分配型）ツインα・コース」は、2025年4月25日に第123期決算を行いましたので、第118期から第123期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近 5 作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	UBSユニバーサル・ト ラ ス ト (ケイマン)Ⅲー ブラジル株式 アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・ ク ラ ス) 組 入 比 率	純 資 産 額
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
第 17 作 成 期	94期 (2022年11月25日)	円 344	円 5	% △ 9.1	% —	% —	% 98.9	百万円 6,296
	95期 (2022年12月26日)	331	5	△ 2.3	—	—	98.6	6,082
	96期 (2023年 1 月25日)	332	5	1.8	—	—	98.8	6,132
	97期 (2023年 2 月27日)	322	5	△ 1.5	—	—	98.5	5,890
	98期 (2023年 3 月27日)	289	5	△ 8.7	—	—	98.6	5,308
	99期 (2023年 4 月25日)	310	5	9.0	—	—	98.8	5,727
第 18 作 成 期	100期 (2023年 5 月25日)	324	5	6.1	—	—	98.6	6,020
	101期 (2023年 6 月26日)	353	5	10.5	—	—	98.7	6,477
	102期 (2023年 7 月25日)	355	5	2.0	—	—	98.7	6,460
	103期 (2023年 8 月25日)	336	5	△ 3.9	—	—	98.5	6,095
	104期 (2023年 9 月25日)	332	5	0.3	—	—	98.6	6,046
第 19 作 成 期	105期 (2023年10月25日)	321	5	△ 1.8	—	—	98.6	5,884
	106期 (2023年11月27日)	337	5	6.5	—	—	98.9	6,103
	107期 (2023年12月25日)	334	5	0.6	—	—	98.5	5,687
	108期 (2024年 1 月25日)	323	5	△ 1.8	—	—	98.5	5,421
	109期 (2024年 2 月26日)	328	5	3.1	—	—	98.5	5,424
	110期 (2024年 3 月25日)	315	5	△ 2.4	0.6	—	98.5	5,171
第 20 作 成 期	111期 (2024年 4 月25日)	303	5	△ 2.2	0.6	—	98.7	4,976
	112期 (2024年 5 月27日)	297	5	△ 0.3	0.6	—	98.9	4,895
	113期 (2024年 6 月25日)	275	5	△ 5.7	0.7	—	98.7	4,421
	114期 (2024年 7 月25日)	262	5	△ 2.9	0.5	—	98.6	4,218
	115期 (2024年 8 月26日)	261	5	1.5	0.5	—	98.5	4,229
	116期 (2024年 9 月25日)	252	5	△ 1.5	0.5	—	98.7	4,076
	117期 (2024年10月25日)	245	5	△ 0.8	0.5	—	98.3	3,967
第 21 作 成 期	118期 (2024年11月25日)	239	5	△ 0.4	0.5	—	97.7	3,902
	119期 (2024年12月25日)	206	5	△11.7	0.5	—	98.1	3,308
	120期 (2025年 1 月27日)	213	5	5.8	0.5	—	98.5	3,443
	121期 (2025年 2 月25日)	205	5	△ 1.4	0.5	—	98.4	3,367
	122期 (2025年 3 月25日)	209	5	4.4	0.4	—	98.0	3,548
	123期 (2025年 4 月25日)	196	5	△ 3.8	0.5	—	98.5	3,401

(注) 基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年	月	日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	UBSユニバーサル・ トラスト (ケイマン)Ⅲー ブラジル株式 アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・ クラスト) 組 入 比 率
					騰 落 率			
第118期	期 首 (前期末)	2024年10月	25日	円	%	%	%	%
			10月末	245	—	0.5	—	98.3
			10月末	245	0.0	0.5	—	98.6
第119期	期 首 (前期末)	2024年11月	25日	244	△ 0.4	0.5	—	97.7
			11月末	225	△ 5.9	0.6	—	97.7
			11月末	211	△11.7	0.5	—	98.1
第120期	期 首 (前期末)	2024年12月	25日	206	—	0.5	—	98.1
			12月末	206	0.0	0.5	—	98.0
			12月末	218	5.8	0.5	—	98.5
第121期	期 首 (前期末)	2025年 1 月	27日	213	—	0.5	—	98.5
			1 月末	216	1.4	0.4	—	98.5
			1 月末	210	△ 1.4	0.5	—	98.4
第122期	期 首 (前期末)	2025年 2 月	25日	205	—	0.5	—	98.4
			2 月末	201	△ 2.0	0.5	—	98.0
			2 月末	214	4.4	0.4	—	98.0
第123期	期 首 (前期末)	2025年 3 月	25日	209	—	0.4	—	98.0
			3 月末	207	△ 1.0	0.4	—	98.5
			3 月末	201	△ 3.8	0.5	—	98.5

- (注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。
- (注) 先物比率＝買建比率－売建比率
- (注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第118期首：245円

第123期末：196円（既払分配金30円）

騰落率：△7.9%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れているUBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）において、通貨カバードコール戦略はプラス寄与しましたが、ブラジル株式（米ドル建てETF）や米ドルが円に対し下落したことなどのマイナス寄与が上回った結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	△7.1%
マネーパールマザーファンド	0.1

■ 投資環境

【ブラジル株式市況】

ブラジル株式市場は下落しました。作成期初から2024年11月にかけては、政府が公表した財政支出削減計画に所得税軽減措置が盛り込まれ、財政赤字を巡る懸念が一段と強まり下落しました。12月は、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利下げを決めた一方、2025年の利下げについては慎重な姿勢を示したことから下落しました。2025年1月は、12月の米CPI（消費者物価指数）がインフレ再燃懸念を和らげる内容だったことなどから上昇しました。2月は、米政権の関税政策への警戒感の高まりや複数の米経済指標が悪化し、米経済の先行きに対する懸念が強まったことから下落しました。3月は、ブラジルの1月の公的部門純債務（対GDP比）が前月の実績値および市場予想を下回ったことが好感されたことや重要な貿易相手国である中国で個人消費促進計画が発表されたことなどから上昇しました。4月から作成期末にかけてはトランプ米大統領が発表した相互関税が想定以上に高めとなり、米景気後退懸念が強まったことにより下落しました。その後、米政権の相互関税延期や一部適用緩和が公表されたこと、米中貿易協議の進展期待から値を戻す展開となりました。

【為替市況】

円・米ドル相場は円高米ドル安となりました。作成期初から2024年11月にかけては、米大統領選挙にてトランプ前大統領の当選が確実となり、次期政権が掲げる政策に対する思惑等により米国長期金利が上昇し、円安米ドル高となりました。11月後半は、次期米大統領による関税強化の方針表明を受けリスク回避的な動きが強まったことなどから円高米ドル安となりました。12月は、米CPIが前月よりも上昇したことや日銀が12月の金融政策決定会合で利上げを急がないとの報道から日米金利差の拡大が意識され円安米ドル高となりました。2025年1月から3月上旬にかけては、日銀の追加利上げ観測の高まりや中国企業が開発したAI（人工知能）モデルへの脅威から株式市場が下落するなどリスク回避的な動きが強まったこと、米政権による関税が即時発効に至らなかったことなどから円高米ドル安となりました。3月下旬は米国の関税に対する警戒感の低下などから円安米ドル高となりました。4月から作成期末にかけては、トランプ米大統領が相互関税を発表したことで、米景気後退への懸念が高まったことや相互関税延期や一部適用緩和が公表されるも中国に対しては厳しい関税を課すことが明らかとなり、米経済悪化の懸念が一段と強まったことにより円高米ドル安が進みました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の0.01%から作成期末は0.38%となりました。作成期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

【UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

主としてUBS AG ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

【マネープールマザーファンド】

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1 万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第118期から第123期まで各 5 円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

【UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建て E T F）の上昇益の 50% 程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建て E T F）からの配当金＋ブラジル株式（米ドル建て E T F）の株式オプションプレミアム＋米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

【マネープールマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれますが、依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細（2024年10月26日から2025年 4 月25日まで）

費用の明細

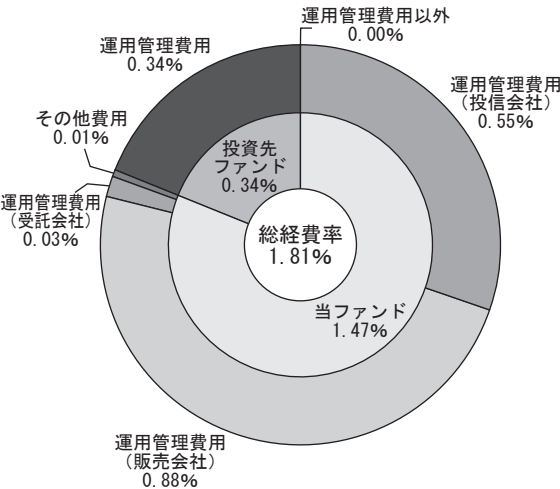
項目	第118期～第123期		項目の概要
	2024/10/26～2025/ 4 /25		
	金額	比率	
平均基準価額	216円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	2円 (1) (1) (0)	0. 729% (0. 275) (0. 438) (0. 016)	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0. 019 (0. 019)	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0. 007 (0. 007)	(c)その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	2	0. 755	

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、1.81%です。



総経費率（①＋②＋③）	1. 81%
①当ファンドの費用の比率	1. 47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0. 34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0. 00%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は年率換算した値です。
- (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。
- (注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2024年10月26日から2025年4月25日まで）

(1) 投資信託証券

		第 118 期 ～ 第 123 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	U B S ユニバーサル・トラスト (ケイマン)Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	口	千円	口	千円
		3,802,106	612,000	668,151	107,331

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第 118 期 ～ 第 123 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
マ ネ ー プ ール マ ザ ー ファ ン ド		千口 —	千円 —	千口 8,786	千円 8,900

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2024年10月26日から2025年4月25日まで）

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2025年4月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作期末 (第117期末)	当期末 (第123期末)		
	口数	口数	評価額	比率
UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲー ブラジル株式会社アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	口 19,509,536	口 22,643,491	千円 3,351,236	% 98.5

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 日数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 117 期 末)	当 作 成 期 末 (第 123 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
マ ネ ー プ ール マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 34,415	千口 25,628	千円 25,990

(注) マネープールマザーファンド全体の受益権口数は28,082千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2025年4月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 123 期 末)	
	評 価 額	比 率
UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	千円 3, 351, 236	% 94. 4
マ ネ ー プ ー ル マ ザ ー フ ァ ン ド	25, 990	0. 7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	173, 081	4. 9
投 資 信 託 財 産 総 額	3, 550, 307	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年11月25日現在 2024年12月25日現在 2025年1月27日現在 2025年2月25日現在 2025年3月25日現在 2025年4月25日現在

項 目	第118期末	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末
(A) 資 産	3,992,471,935円	3,463,043,655円	3,554,313,474円	3,518,829,494円	3,660,025,417円	3,550,307,832円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	148,013,282	178,012,456	136,759,362	178,732,378	155,907,381	173,078,887
U B S ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス) (評価額)	3,812,701,632	3,244,164,901	3,391,590,521	3,314,125,319	3,478,136,271	3,351,236,715
マネーボールマザーファンド (評価額)	31,756,197	25,956,769	25,961,895	25,969,584	25,979,835	25,990,086
未 収 入 金	—	14,908,537	—	—	—	—
未 収 利 息	824	992	1,696	2,213	1,930	2,144
(B) 負 債	90,286,430	154,847,589	111,150,396	150,846,910	111,481,552	148,388,595
未 払 金	—	—	21,000,000	59,000,000	20,000,000	55,000,000
未 払 収 益 分 配 金	81,762,547	80,413,945	80,944,310	82,195,745	85,056,373	86,940,293
未 払 解 約 金	3,549,469	70,042,632	4,681,066	5,516,745	2,580,637	2,211,674
未 払 信 託 報 酬	4,922,610	4,345,283	4,477,892	4,091,364	3,804,504	4,192,508
そ の 他 未 払 費 用	51,804	45,729	47,128	43,056	40,038	44,120
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,902,185,505	3,308,196,066	3,443,163,078	3,367,982,584	3,548,543,865	3,401,919,237
元 本	163,525,095,919	160,827,890,980	161,888,620,414	164,391,490,238	170,112,747,476	173,880,586,415
次 期 繰 越 損 益 金	△159,622,910,414	△157,519,694,914	△158,445,457,336	△161,023,507,654	△166,564,203,611	△170,478,667,178
(D) 受 益 権 総 口 数	163,525,095,919口	160,827,890,980口	161,888,620,414口	164,391,490,238口	170,112,747,476口	173,880,586,415口
1万口当たり基準価額 (C/D)	239円	206円	213円	205円	209円	196円

(注) 当ファンドの第118期首元本額は161,832,845,362円、第118～123期中追加設定元本額は36,861,037,541円、第118～123期中一部解約元本額は24,813,296,488円です。

(注) 元本の欠損

第123期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は170,478,667,178円です。

(注) 第123期末の1口当たり純資産額は0.0196円です。

損益の状況

自2024年10月26日 自2024年11月26日 自2024年12月26日 自2025年1月28日 自2025年2月26日 自2025年3月26日
至2024年11月25日 至2024年12月25日 至2025年1月27日 至2025年2月25日 至2025年3月25日 至2025年4月25日

項 目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
(A) 配 当 等 収 益	97,685,155円	116,008,973円	157,553,396円	122,083,015円	126,528,037円	129,994,821円
受 取 配 当 金	97,672,259	115,993,478	157,535,734	122,067,598	126,499,490	129,964,402
受 取 利 息	12,896	15,495	17,662	25,417	28,547	30,419
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 118,596,287	△ 550,111,456	39,210,088	△ 166,997,255	21,191,004	△ 258,076,649
売 買 益	△ 1,013,700	17,860,058	37,745,099	△ 1,784,844	20,173,679	△ 2,084,857
売 買 損	△ 117,582,587	△ 567,971,514	1,464,989	△ 165,212,411	1,017,325	△ 255,991,792
(C) 信 託 報 酬 等	△ 4,974,414	△ 4,391,012	△ 4,525,020	△ 4,134,420	△ 3,844,542	△ 4,236,628
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 25,885,546	△ 438,493,495	192,238,464	△ 49,048,660	143,874,499	△ 132,318,456
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 5,002,245,361	△ 4,839,118,251	△ 5,245,353,025	△ 5,061,810,085	△ 5,104,379,457	△ 4,918,678,808
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△154,513,016,960	△152,161,669,223	△153,311,398,465	△155,830,453,164	△161,518,642,280	△165,340,729,621
(配 当 等 相 当 額)	(16,097,350,841)	(15,834,822,681)	(15,943,032,318)	(16,195,089,135)	(16,770,966,073)	(17,155,572,850)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△170,610,367,801)	(△167,996,491,904)	(△169,254,430,783)	(△172,025,542,299)	(△178,289,608,353)	(△182,496,302,471)
(G) 合 計 (D + E + F)	△159,541,147,867	△157,439,280,969	△158,364,513,026	△160,941,311,909	△166,479,147,238	△170,391,726,885
(H) 収 益 分 配 金	△ 81,762,547	△ 80,413,945	△ 80,944,310	△ 82,195,745	△ 85,056,373	△ 86,940,293
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△159,622,910,414	△157,519,694,914	△158,445,457,336	△161,023,507,654	△166,564,203,611	△170,478,667,178
追 加 信 託 差 損 益 金	△154,513,016,960	△152,161,669,223	△153,311,398,465	△155,830,453,164	△161,518,642,280	△165,340,729,621
(配 当 等 相 当 額)	(16,097,350,841)	(15,834,822,681)	(15,943,032,318)	(16,195,089,135)	(16,770,966,073)	(17,155,572,850)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△170,610,367,801)	(△167,996,491,904)	(△169,254,430,783)	(△172,025,542,299)	(△178,289,608,353)	(△182,496,302,471)
分 配 準 備 積 立 金	28,770,008	58,796,003	130,757,296	164,834,139	200,460,513	234,664,533
繰 越 損 益 金	△ 5,138,663,462	△ 5,416,821,694	△ 5,264,816,167	△ 5,357,888,629	△ 5,246,021,844	△ 5,372,602,090

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第118期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（92,710,741円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（16,097,350,841円）および分配準備積立金（17,821,814円）より、分配対象収益は16,207,883,396円（1万口当たり991円）であり、うち81,762,547円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第119期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（111,617,961円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（15,834,822,681円）および分配準備積立金（27,591,987円）より、分配対象収益は15,974,032,629円（1万口当たり993円）であり、うち80,413,945円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第120期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（153,930,212円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（15,943,032,318円）および分配準備積立金（57,771,394円）より、分配対象収益は16,154,733,924円（1万口当たり997円）であり、うち80,944,310円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第121期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（117,948,595円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（16,195,089,135円）および分配準備積立金（129,081,289円）より、分配対象収益は16,442,119,019円（1万口当たり1,000円）であり、うち82,195,745円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第122期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（123,235,187円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（16,770,966,073円）および分配準備積立金（162,281,699円）より、分配対象収益は17,056,482,959円（1万口当たり1,002円）であり、うち85,056,373円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

【第123期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（125,758,193円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（17,155,572,850円）および分配準備積立金（195,846,633円）より、分配対象収益は17,477,177,676円（1万口当たり1,005円）であり、うち86,940,293円（1万口当たり5円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1万口当たり・税引前)

項目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
	2024年10月26日 ～2024年11月25日	2024年11月26日 ～2024年12月25日	2024年12月26日 ～2025年1月27日	2025年1月28日 ～2025年2月25日	2025年2月26日 ～2025年3月25日	2025年3月26日 ～2025年4月25日
当期分配金	5	5	5	5	5	5
（対基準価額比率）	2.049	2.370	2.294	2.381	2.336	2.488
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	986	988	992	995	997	1,000

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
(注) 投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。
※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

《お知らせ》

2025年4月1日適用で、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、信託約款の変更を行いました。

補足情報

マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

公社債

2024年10月26日から2025年4月25日まで

買		付		売		付	
銘柄	柄	金額		銘柄	柄	金額	
第1273回国庫短期証券		千円		第1207回国庫短期証券		千円	
第1291回国庫短期証券		17,091				5,899	
		16,964					

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

マネープールマザーファンドの組入資産の明細

下記は、マネープールマザーファンド全体(28,082千口)の内容です。

公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債<種類別>

2025年4月25日現在

区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	17,000 (17,000)	16,972 (16,972)	59.6 (59.6)	— (—)	— (—)	— (—)	59.6 (59.6)
合計	17,000 (17,000)	16,972 (16,972)	59.6 (59.6)	— (—)	— (—)	— (—)	59.6 (59.6)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内(邦貨建)公社債<銘柄別>

2025年4月25日現在

銘柄	柄	利率	額面金額	評価額	償還年月日
(国債証券)		%	千円	千円	
第1291回国庫短期証券		—	17,000	16,972	2025/9/10
合計			17,000	16,972	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

組入投資信託証券の内容

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）
（ツイン・アルファ・クラス）（シングル・アルファ・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分	類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用基本方針		（ツイン・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 （シングル・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象		米ドル建政府債及び担保付スワップ取引等を主要投資対象とします。
投資態度		（ツイン・アルファ・クラス） ①担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、原則として、ブラジル株式・オプション取引についてはおおむね純資産相当額の半分程度、為替オプション取引についてはおおむね純資産相当額程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。 （シングル・アルファ・クラス） ①担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引の実質的な想定元本は、原則として、おおむね純資産相当額の半分程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限		①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済総株式数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかける資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社ならびに管理会社は、自己又は投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
分配方針		原則として、毎月分配を行います。
投資運用会社		UBSマネジメント（ケイマン）リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1)(2)：UBS証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3)：バンクオブニューヨークメロン証券株式会社およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状態

作成基準日：2024年11月30日

	受益権総口数
シングル・アルファ・クラス	425, 460口
ツイン・アルファ・クラス	19, 803, 360
合計	20, 228, 820口

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2023年12月 1 日～2024年11月30日

単位：円

収益	
手数料収入	1, 158, 169, 234
担保付スワップ取引に係る純損益	(2, 099, 610, 502)
収益合計	(941, 441, 268)
運用費用	17, 776, 355
運用費用合計	17, 776, 355
運用損益	(959, 217, 623)
分配前の期中の純資産変動	(959, 217, 623)
支払分配金	(1, 140, 392, 879)
分配後の期中の純資産変動	(2, 099, 610, 502)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2024年11月30日

担保付スワップ

単位：円

クラス	想定元本額	評価額
シングル・アルファ・クラス	4, 254, 593, 610	326, 752, 789
ツイン・アルファ・クラス	198, 033, 602, 660	3, 485, 391, 407
合計		3, 812, 144, 196

(注) 日付は現地基準です。

マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第19期（決算日 2024年11月11日） （計算期間 2023年11月11日から2024年11月11日まで）

「マネープールマザーファンド」は、2024年11月11日に第19期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率			
	円	%	%	%	百万円
15期（2020年11月10日）	10,145	△0.1	—	—	109
16期（2021年11月10日）	10,139	△0.1	—	—	75
17期（2022年11月10日）	10,133	△0.1	—	—	57
18期（2023年11月10日）	10,126	△0.1	—	—	53
19期（2024年11月11日）	10,128	0.0	66.3	—	34

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

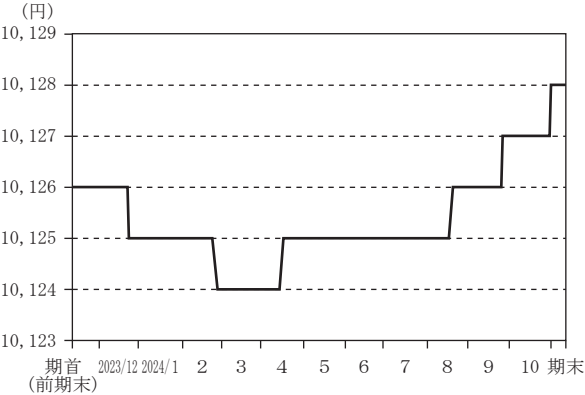
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 券 率 %	債 先 物 比 券 率 %
期首（前期末） 2023年11月10日	円 10,126	% —	% —
11月末	10,126	0.0	—
12月末	10,125	△0.0	—
2024年1月末	10,125	△0.0	—
2月末	10,124	△0.0	—
3月末	10,124	△0.0	59.7
4月末	10,125	△0.0	59.7
5月末	10,125	△0.0	59.7
6月末	10,125	△0.0	59.7
7月末	10,125	△0.0	60.8
8月末	10,126	0.0	60.8
9月末	10,127	0.0	60.8
10月末	10,128	0.0	60.8
期 末 2024年11月11日	10,128	0.0	66.3

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,126円からスタートし、期末は10,128円となりました。運用対象である国庫短期証券やコール・ローン等の利回りが2024年3月中旬以降、プラスで推移したことから基準価額は上昇しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.20%から期末は0.07%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移していたため組入れを見送っていましたが、2024年3月中旬に利回りがプラスとなった国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、全額コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は政策金利の引き上げを行いました。依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は低位で推移すると予想します。相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細（2023年11月11日から2024年11月11日まで）

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況（2023年11月11日から2024年11月11日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	31,995	8,996

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

主要な売買銘柄（2023年11月11日から2024年11月11日まで）

公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
第1207回国庫短期証券	千円 31,995	第1207回国庫短期証券	千円 8,996

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2023年11月11日から2024年11月11日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2024年11月11日現在）

下記は、マネープールマザーファンド全体（34,272千口）の内容です。

公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債＜種類別＞

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国 債 証 券	千円 23,000 (23,000)	千円 22,998 (22,998)	% 66.3 (66.3)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 66.3 (66.3)
合 計	23,000 (23,000)	22,998 (22,998)	66.3 (66.3)	— (—)	— (—)	— (—)	66.3 (66.3)

（注）（ ）内は非上場債で内書きです。

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（注）残存期間が1年以内の公社債は、原則として償却原価法により評価しております。

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債＜銘柄別＞

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
（国債証券） 第1207回国庫短期証券	% —	千円 23,000	千円 22,998	2025/1/20
合 計		23,000	22,998	

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2024年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	22,998	66.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	11,712	33.7
投 資 信 託 財 産 総 額	34,710	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年11月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	34,710,609円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	11,711,713
公 社 債(評価額)	22,998,834
未 収 利 息	62
(B) 純 資 産 総 額(A)	34,710,609
元 本	34,272,599
次 期 繰 越 損 益 金	438,010
(C) 受 益 権 総 口 数	34,272,599口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(B/C)	10,128円

- (注) 期首元本額 52,365,520円
期中追加設定元本額 553,087円
期中一部解約元本額 18,646,008円
(注) 1口当たり純資産額は1.0128円です。
(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) ツインα・コース 31,354,855円
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) シングルα・米ドルコース 2,917,744円

損益の状況

当期 自2023年11月11日 至2024年11月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	7,512円
受 取 利 息	18,027
支 払 利 息	△ 10,515
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 3,406
売 買 損 益	△ 3,406
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	4,106
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	660,983
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,913
(F) 解 約 差 損 益 金	△233,992
(G) 合 計(C+D+E+F)	438,010
次 期 繰 越 損 益 金(G)	438,010

- (注) 損益の状況の中で
(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
(F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。